

# 「飯田市平和祈念館を考える会」ニュース

No. 3 2023. 5. 9

代表；唐沢慶治 連絡先；0265-26-9204

## 学習会② 胡桃澤正邦さん証言録画の視聴



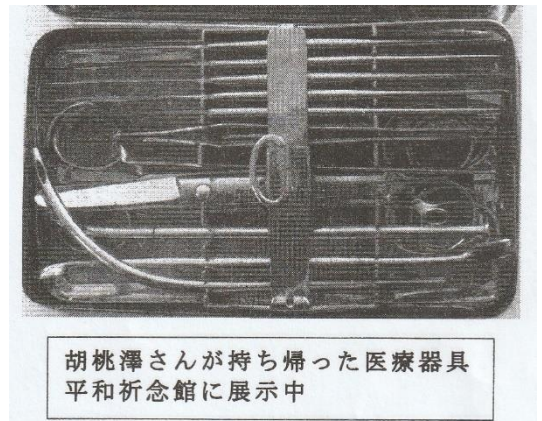
証言する胡桃澤さん（録画より）

### 「私は 731 部隊員だった」（1991 年 8 月）

「飯田市平和記念館を考える会」の第 2 回学習会が、4 月 16 日（日）午後 1 時半より飯田市公民館 2 階の多目的ホールで行われ、78 人が参加しました。そこでは、731 部隊の技手（軍属）として 300 体以上の解剖に関わったと証言している胡桃澤正邦さんが、1991 年 8 月に飯田市で開催された「平和のための信州・戦争展」で語った貴重な録画が写されました。残念なことに、音声をはっきり聞きとれない場面もありましたが、731 部隊の石井四郎隊長の事、3000 人の大部隊がハルビン郊外にあった事、コレラ・ペスト・チフス・赤痢等の細菌の研究をしていた事、マルタと呼ばれた捕虜等を使って生体解剖をしていた事、絶対秘密であった事、戦後、公職についてはならんと命令された事、戦争を知らない子ども達に伝えたいと思った事などが話されました。

その後、第 2 回展示・活用検討委員会の報告がありました。市教委が「731 部隊とは」という展示素案を出してきた事、3 人のガイドを今年 4 月より採用して、平和祈念館の説明や、戦争資料の整理をしてもらったりするという内容でした。

また、今後の運動の方向についての提案が事務局よりあり、第 3 回目の学習会を 5 月 28 日に（日）午後 1:30～4:00 まで、2 回目と同じ飯田市公民館 2 階の多目的ホールで清水英男さんの証言を聞くと提案されました。また、7 月 30 日（日）には 731 部隊の研究者である西山勝夫さん（滋賀医科大学名誉教授）をお迎えして講演してもらおう予定との報告もありました。



胡桃澤さんが持ち帰った医療器具  
平和祈念館に展示中

## ＜参加者の感想より＞

- ・駐車場の問題もありますが、本日のように広い会場であると良いと思いました。(あと、アクセスの良いところ)
- ・証言映像はたいへん刺激的で衝撃を受けました。と同時に新たな発見もありました。胡桃澤さんのお話「申し訳なかったのだけれど、仕方なかった。(軍人の心得を唱える)」という心情に、私たちはどう向き合うかが問われていると思います。
- ・このDVDは大変貴重な、若い世代にも考えるべき学習素材と言えますので、工夫をして何らかの活用を期待したいです。テープ起こしをしてなかった部分もありましたので正確な文字起こしを期待します。
- ・ガイドをつけたという点ですが、非常勤ではなく、平和資料収集委員のみなさんの精神を引き継ぐガイド、学芸員が必要不可欠だと思います。
- ・平和祈念館は市長のものではなく、あくまでも市民の学習の成果のものです。引き続き教委には市民的合意形成の場として機能するよう、私たちも見守っていきたいと思います。今後ともよろしくをお願いします。



学習会②の様子 その1



学習会②の様子 その2

- ・初めて平和祈念館を見学しました。この学習会の前でしたので、また、時間をしっかりとって見学に来たいと思います。足を運ぶことが大事と考えます。検討委員会は発展があったのではないのでしょうか。回数を重ねることで市側も考えざるを得ないと思い始めた？検討委員会に出席してくださる方々の努力が届き始めたのかと考えます。学習会の継続も力になっていると思いました。友人、知人を誘ってみます。
- ・「新しい戦前」が、戦争にならぬことを願うのみです。

## 「飯田市平和祈念館を考える会」学習会③

日 時： 5月28日(日) 午後1:30~4:00

会 場： 飯田市公民館2階 多目的ホール (TEL0265-22-1132)  
(飯田駅前 丘の上結いスクエア)

テーマ： 清水 英男さん証言「731部隊少年隊・平和祈念館」  
(資料代 500円)

今後の運動のあり方についても意見交換します。